H30年度　新人看護師教育計画書

研修目的:医療人、組織人としての役割を認識し、基本的知識・技術・態度を身につける

1年目の到達目標　:1. 組織の一員としての心構えが分かり、看護師としての自覚ができる
2. 基本的な看護の知識や技術を身につけ、安全安楽な看護ができる
3. メンバーとしての自分の役割が理解できる

マンツーマンで指導→　（見せる⇒一緒にやってみる）　　見守り指導 ------▶

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
到達目標	・病院組織の概要、看護部の理念を理解できる ・配属部署の特徴を理解できる ・社会人組織人としての自覚が持てる ・基本的なベッドサイドケアを看護手順に沿って安全にできる ・報告・連絡・相談が適切にできる ・基本的な看護記録が理解できる ・リアリティショックをおこさず仕事への意欲を高めることができる ・急変時の対応が理解できる			・担当患者のケアが安全にできる ・受け持ち患者を1名から受け持ち、指導を受けながら看護計画の立案評価ができる ・入退院の一連の流れが理解できる ・安全管理について理解できる ・夜間休日業務について理解実践できる ・急変時の対応が実践できる			・受け持ち患者の看護過程が展開できる ・チームの一員として複数の患者を担当できる ・多重課題発生場面で優先順位を選択し、安全な看護ができる ・急変時の対応が実践できる				・1年間の自己を振り返り、次年度への課題を見出すことができる ・急変時の看護が実践できる	
指導のめやす	根拠を説明し、実際をしてみせる(プリセプターと同じ患者を受け持つ) 週間指導計画書をプリセプターが1週毎の目標・計画を記入する(5月末まで) 極力定時で帰す 終業5～10分前には今日の学びや思いについて、話をする時間をつくる 病棟の概要→ 態度→ 報告→ バイタルサイン測定→ 様子をみてひとり立ちへ 基本的な看護技術→ (保清ケアは必ず行う)→			------▶ (基本的に助手依頼でも可) 4/25～4/27　新人ケア研修(部屋もちなく、指導者と共にケアのみ実施) 一般的な検査→ 一般的な処置→ 医療機器→ 記録→ 看護計画・評価→ 与薬→ 注射・点滴→ OP・重症患者の管理・看護→ 救急看護→ 入・退院業務→ 指示受け(必ずダブルチェック)→	------▶ ------▶ ------▶ ------▶ ------▶ 基本的にひとり立ちさせる ------▶ ------▶ ------▶ ------▶ ------▶		基本的にひとり立ちさせる 基本的にひとり立ちさせる 基本的にひとり立ちさせる 基本的にひとり立ちさせる 基本的にひとり立ちさせる 基本的にひとり立ちさせる 基本的にひとり立ちさせる 基本的にひとり立ちさせる 基本的にひとり立ちさせる 基本的にひとり立ちさせる 基本的にひとり立ちさせる 基本的にひとり立ちさせる		
記録物	1. チェックリストは毎日活用(指導者と共に評価する) 2. 実務日誌は毎日記録し、1週間分まとめて月曜日にプリセプターに提出 3. 3ヶ月反省レポート 4. 臨床実践能力評価表			1. 同様 2. 実務日誌は1週間分まとめて記録し、提出 3. 6ヶ月反省レポート 4. 臨床実践能力評価表			1. 同様 2. 実務日誌は1ヶ月分まとめて記録し、提出				1. 同様 2. 実務日誌は1カ月分まとめて記録し、提出 3. 12ヶ月反省レポート 4. 臨床実践能力評価表	

※3・6・12ヶ月は記録物(1・2・3・4)をプリセプター、師長、看護部長まで提出する
※プリセプターは自己評価表を6・12カ月に提出する

2013.10月作成
2017年4月改訂